

挑戦7 教育・文化・スポーツの振興

将来の北薩地域は

学校・家庭・地域・企業等が一体となって、北薩地域の良き伝統や風土を生かしながら、豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育に取り組み、確かな学力を身につけるとともに、「生きる力」を備えたたくましい子どもたちが育っています。

また、地域の人々が、豊かな人生を送ることができるよう、スポーツや芸術文化に親しめる環境が整っていると同時に、郷土の伝統文化や文化財が守り育てられています。

1 地域の特色を生かした教育の振興

将来のイメージ

- 子どもたちが、地域に根ざした学校教育の中で、明るく生き生きと学び、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力などの「生きる力」を身に付けています。
- 地域の自然や歴史、伝統や文化を生かした特色ある様々な体験活動や教育活動を通して、子どもたちが社会性・人間性に富み、健やかに成長できる環境が整っています。

現状と課題

- 子どもたちが、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力などの「生きる力」を身につけるために、学校、家庭、地域が一体となって、それぞれの責任を果たしていくことが求められています。
- 子どもたちの個性や能力を伸ばすために、楽しく意欲をもって学べる学校づくりや教職員の資質能力の向上が求められています。
- 子どもたちが安心して学校生活を送ることができる環境整備、いじめや不登校の未然防止、早期解決等、問題行動の減少に向けた積極的な取組が必要です。
- 地域の特性を生かした特色ある学校づくり、へき地・小規模校だからこそできる教育を推進することが求められています。
- 「出水兵児修養掟^{※6 7}」などの独特な教育的風土を生かした郷土教育、「東郷文弥節人形浄瑠璃^{※6 8}」などの郷土に伝わる文化・芸術の継承活動などを通して、郷土の伝統・文化を尊重し、郷土を愛する心情をはぐくんでいくことが望まれています。

- ツルの渡来地の「出水平野」やラムサール条約登録湿地の「藺牟田池」を始めとする地域の豊かな自然を生かした環境教育の充実、地域の農水産物や伝統的食文化を生かした食育を推進することが求められています。

〔口語訳〕
 人は正しいことをしなさいといけません。
 正しいことは、うそを言わないこと、自分
 の正しさを馬鹿にしたりしないこと、素直で礼
 儀正しく、目上の人にはへこへこしたり目下
 の人を助け、約束は必ず守り、何事にもい
 っしょうけんめいやること、人を困らせる
 ような話や悪口などを言わないこと、
 自分が悪ければ首がはねられるようなこと
 があっても、へんかいたりおそれたりして
 はいけません、そのような強い心を持つこと
 と、小さなことでこせこせしない広い心で、
 相手の心の痛みが分かるやさしい心を持つ
 ているのが、立派な人と言えるのです。

出水兵児修養掟
 士は即義を嗜み申すは口は偽りを
 節義の嗜みと申すものは口は偽りを
 言はず身は私を構はず心直にして
 作法乱れず礼儀正しく上は諂ら
 えず下を侮らざらん人の患難を見
 捨てず己か約談を違はず申す
 一く頼母一く苟且すも下様の賊
 物語り悪口など話の端から生さず
 恥我知りて首刎おしむとも己を
 引かず其心鉄石れ如く又温和慈愛
 ありて物の哀れををり人に情あふ
 以て即義の嗜みと申すもりの也
 耕心道人之

出水兵児修養掟



東郷文弥節人形浄瑠璃

取組の方向性

- (1) 地域全体で子どもをはぐくむ「地域に根ざした学校」づくりの推進
 - 学校、家庭、地域社会が相互に連携しつつ、それぞれの教育的機能を充実させ、地域の力を結集して子どもを育てる環境づくりに努めます。
 - 地域社会の大人や団体、企業などが、学校に参加、協力、支援することによって、地域を生かした体験活動やキャリア教育^{※69}を充実し、自主性、創造性、社会性を身につけた子どもたちを育成します。
- (2) 生きる力をはぐくむ教育活動の充実
 - 知識・技能を活用する学習活動を充実し、思考力・判断力・表現力を育成するとともに、国語科の授業はもとより、その他の教科を含めた教育活動全体を通して、考えのまとめ方や発表の方法など、言語活動の充実に努めます。
 - 学力調査等による子どもたちの学力定着状況の把握・分析・公開と、「学力向上アクションプラン」の作成による実効ある対策の実施に努めます。

- 小中一貫教育や幼・小・中・高の連携を強化し、生徒指導の充実や子どもたちの学力向上に向けた教員の授業力向上に努めます。
- 問題行動の早期発見、早期解決などに対応するため、子どもたち一人ひとりの実態に応じた生徒指導を推進するとともに、教育相談体制の充実を図り、スクールカウンセラー、相談員などの一層の活用に努め、学校・家庭・地域と関係機関が一体となった取組を推進します。
- 地域特別支援連携協議会を設置し、地域のネットワークづくりに努めるとともに、障害のある子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じて、適切な指導及び必要な支援を行う特別支援教育を充実します。

(3) へき地、小規模教育の充実

- 子ども一人ひとりが主役として活躍する教育活動、異年齢集団による教育活動、地域の自然、伝統文化などを生かした教育活動など、へき地・小規模校の「よさ」を積極的に生かした教育活動を充実します。
- 近隣の学校同士の交流、少人数における効果的な指導法、複式学級の指導法の改善などを通して、へき地・小規模校の教育の充実を図るとともに、教職員の指導力の向上を目指した教育活動や研修を充実します。

(4) 郷土教育、環境教育、^{※70}食育の推進

- 当地域の歴史、文化、教育的風土、先人の教えなど、当地域のよさを生かした郷土教育を推進し、郷土への愛着と誇りをもった子どもたちを育成します。
また、地域の縁や地域社会に蓄積された様々な知恵を生かした「かごしま地域塾」を推進します。
- 当地域の豊かな自然や環境、人材、施設などを有効に活用し、体験を通して学びながら特色ある環境教育を推進していきます。
- 当地域の食文化を生かした「食育」の教育課程への適切な位置付け、食育月間や食育の日の設定、食に関する体験活動を促進します。

(5) 地域に信頼される学校づくりと教職員の資質向上

- 学校の教育目標、教育計画、教育方針などについて、保護者や地域の人々に説明し、理解を求めるとともに、教育活動全般についての成果を公表し、より一層地域に開かれた学校づくりに努めます。
- 学校関係者評価委員会による評価の実施と公表等、学校評価の充実を通して地域の声を反映し、地域から信頼される学校づくりを推進します。
- すべての学校で教育活動公開日や公開週間の設定を推進し、学校の教育活動を保護者や地域の人々に積極的に公開します。
- 教職員それぞれのライフステージに即して、必要な研修のできる機会を確保するとともに、本地区教育の現状や課題、方向性を踏まえた研修を実施します。

(6) 安心・安全な教育環境の整備

- 子どもたち自らが事故や事件を回避するための危険回避能力を育成します。
- 地域安全ボランティアや警察署等関係機関との連携を強化し、地域社会の協力の下、地域ぐるみで子どもの安全を守る体制整備に努めます。
- 学校施設の耐震化を促進します。

2 生涯学習社会の実現と地域文化の創造

将来のイメージ

- 地域住民の意欲や興味に応じて学んだり交流したりできる環境づくりが進んでおり、多彩な生涯学習活動が行われ、その成果が個人の生きがいや地域づくりに生かされています。
- 郷土の伝統的な文化芸術が、住民の共通財産として保存・継承され、個性あふれる地域文化活動の充実と郷土を愛するふるさとづくりが展開されています。

現状と課題

- 国際化、情報化、高齢化など社会の急速な変化に伴い、新たな知識・技術等の習得が課題となっており、様々な学習機会の整備や学習内容等の一層の充実が必要となっています。
- 現代の子どもたちは生活体験や自然体験が不足しており、様々な体験活動の場の確保が求められており、生涯学習関連施設との連携による、より身近で多様な学習機会の確保が必要です。
- 地域が有する歴史文化資源の重要性や素晴らしさを広く発信し、保存・継承していくことが求められています。そのため、自分の住む地域の伝統文化に誇りを感じ、地域について気付き、学べる機会をつくっていくことが必要です。
- 地域に残された貴重な文化財の保存と有効な活用策の見直し、後継者育成が必要です。

取組の方向性

(1) 生涯学習の推進

- 生涯学習社会の実現に向け、それぞれの地域の特性を生かしながら、住民が生きがいを持って快適に生活できるまちづくりに努めます。
- 専門的な指導力や優れた資質などを備えた指導者の養成・確保に努めるとともに、生涯学習活動への積極的な参加を図るための広報活動を充実するなど、生涯学習の一層の普及に努めます。

- 指導者情報の収集と人材バンクの整備に努め、地域の人材の活用を図ります。
- 社会教育関係団体のネットワークづくりや自主的な活動への支援に努めます。
- 家庭・学校・地域の連携による、たくましい子どもを育成するための体験活動等の充実と子どもの体験活動の場を確保するための支援体制を充実します。

(2) 地域文化活動の充実

- 地域の先人が築いてきた多彩な芸術や文化に触れる機会を充実し、多くの感動体験とともに郷土への愛着や誇りを培う文化芸術活動の振興に努めます。
- 文化財少年団や自治会、コミュニティ協議会等による貴重な文化遺産の保存と活用に向けた取組を通して、豊かな情操や深い教養を培い、潤いのある生活と明日への活力を生み出す文化づくりに努めます。
- 文化財保護審議会委員や文化財保護指導員等との連携を通して、文化財活用方策等の研修の充実を努めます。
- 「甑島のトシドン」(ユネスコ世界文化遺産登録)や「さつま町の鷹踊り」^{※7.1}、「阿久根市波留南方神社の神舞」^{※7.2}(県指定無形民族文化財)など、学校・地域の連携による文化財伝承活動の充実を努めます。
- 「こしきアートプロジェクト」^{※7.3}など、民間、地域住民等による芸術・文化活動の取組を支援します。
- 出水麓や入来麓の武家屋敷群、甑島や獅子島の恐竜等の化石などの文化財や歴史遺産等を観光資源に生かすための保存・整備に対する取組を支援します。



甑島のトシドン



さつま町の鷹踊り (県HPより)



阿久根市波留南方神社の神舞(県HPより)